

## 復刊にあたって

図書館長 白石 太一郎



月日の経つのは早いもので、奈良大学で教鞭をとらせていただくようになって早くも2年半が経過した。着任早々の一昨年、英国のダーラム大学で東アジア考古学を教えておられるジーナ・バーンズさんが研究室を訪ねてこられた。バーンズさんとは、女史がまだケンブリッジ大から京大に留学しておられた30年以上前からの知り合いである。是非会わせたい人がいるということで、ダーラム大学で学位をとるべく留学中の日本人女性のAさんを連れてこられ、紹介された。Aさんは考古学の立場から日本古代のジェンダーの問題を研究しておられる。話が弾み、楽しい時間を過ごしたが、Aさんは資料収集のためときどき日本に帰られるが、その際はもっぱら奈良大学の図書館を利用されるということであった。Aさんの実家は関東であるにもかかわらず、である。それは考古学の文献や報告書がよく揃い、しかも開架式で利用しやすいからだという。

40年も前の話になるが、私は学部から大学院のほぼ10年間、同志社で考古学を学んだ。今はそんなことはないが、その頃の同志社には考古学の報告書などほとんどなく、もっぱら京大の考古学教室の蔵書を利用させてもらった。それに比べると奈良大の学生諸君は恵まれている。何とんでも自分の大学に基本的な文献が揃っているほどありがたいことはない。奈良大の図書館には考古学だけではなく、文化財、歴史、地理、文学、さらに社会科学関係の書物や学術雑誌も充実している。また35万冊の蔵書のうち33万冊は開架式で、自分が必要とする文献がどうかを直接手に取って確かめることができるのも有難い。また学外の方々にも利用いただけるようになっており、大学の地域貢献にも一定の役割を果たしている。

その後、Aさん以外の複数の方からも、奈良大の図書館の充実ぶりを評価されるのを聞くことができた。少なくとも考古学の分野では、奈良大の図書館は学外の利用者や専門家の間では有名なのである。これはおそらく考古学以外のいくつかの学問分野についても同じであろう。『大学ランキング2007年版』(朝日新聞社ムック・朝日新聞社出版)の調査によると、奈良大図書館は学生一人あたりの蔵書数、図書の新規受入数、利用状況、図書館経費などを総合した評価では、調査に応じた620の国公立大学のうちで50位にランクされている。関西の私立大学の中では、天理大、神戸学院大、関西学院大学、同志社大に次いで5位である。

図書館の充実には長い年月を必要とする。奈良大がこうしたすぐれた図書館を持つことになったのは、これまで努力してこられた理事者や先生方、さらに図書館関係者の長年のご努力の結果にほかならない。また毛利久、藤岡謙二郎、小野川秀美、水野正好の諸先生ら奈良大で教鞭をとられた著名な先生方がその蔵書を寄贈下さった各文庫の存在が、本図書館の蔵書の質を高めていることも忘れてはならないだろう。もちろん蔵書、施設などまだまだ充分とはいえない。さらに充実を図らなければならないことはいうまでもない。しかし最大の利用者である学生諸君には、学外の方が高く評価するこの図書館を誇りに思い、十二分に活用していただきたい。大学図書館の本当の評価は、それを利用する学生諸君の勉学の成果によって決まるものにほかならないからである。

思いもかけず、四月から図書館長をお引受けすることになった。奈良大学図書館報の復刊に際して、新米館長として個人的な思いを書かせていただいた。このささやかな冊子が、図書館を利用される学生諸君や先生方、さらに学外からの利用者の方々と図書館をつなぐ役割を果し、本図書館の一層の発展に役立つことを望んでやまない。

## 閲覧と保存のこと

文学研究科国文学専攻 M2 青木美奈子

先日、テレビのニュース番組で図書館閲覧用雑誌の切り取り行為の話題を耳にした。図書館でアルバイトをしている身にとって、これはとても気になるニュースであった。

そういった切り取り行為をした図書館利用者の中には罪悪感、切り取り行為自体が悪いという自覚の無い人が多かったそうだ。そもそも雑誌というものは手軽で安価、「読み終わると捨てる」といった事が世間一般の常識のようなものだからだろうか。しかしそれはあくまでも個人の内の事である。図書館に置いてあるものはそのようなものではない。みんなのもの、共同のものだからということだけでなく、新着雑誌コーナーにあったものはこの後、数ヶ月分まとめて製本され、書架にずっと残されていくものなのである（地下の雑誌の書庫）。例えば情報誌などの気軽な雑誌。自分のもの同然に乱暴に扱ってはいないだろうか？

これは雑誌だけではなく、普通の図書においても言えることである。鉛筆、ひどいときはペンで線を引いたり、目印の為にページを折り曲げたりなど、個人の所有物のように使いこなされている状態のものが見つかると、残念な気持ちになることもしばしば。借りた図書にお茶をこぼしてしまったなどということは不注意からだという問題ではなく、飲食をしながら読んだことに問題がある。図書館では飲食をし

ながらの閲覧は出来ない、これは持ち帰ったとしても同じである（またこれらすべての行為は「器物破損」になると警告している図書館のサイトもある）。返却するまでの間、大袈裟に言えば仮の所有者のとしての責任を負うのだと言える。

図書館にある資料は利用するものであると同時に遺していくものでもある。消費するものではないのだ。図書館へは勉強する意欲とともに最低限のマナーも持って。同時に私も奈良大学図書館の利用者の一人であるので、この機会に自らのマナー・意識も再確認したいと思う。



## 「マイライブラリ」の稼動について

(図書館)

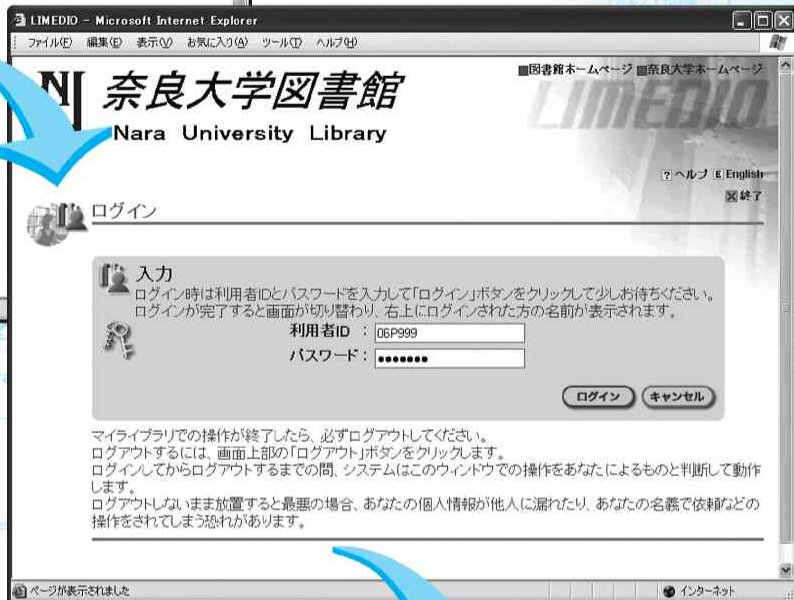
平成18年7月からコンピュータ・システム「LIMEDIO」(リメディオ)に「マイライブラリ」の機能を追加しました。

これは、自宅や研究室から図書予約、貸出延長の手続きなどが行える利用者個人のページで、IDとパスワードを入力すればログインできます。インターネット接続環境があれば、どこでも使用可能ですので、図書館OPACトップページからご利用ください。今後もさらに改良される予定です (<http://library.nara-u.ac.jp/mylimedio/top.do>)。利用方法の詳細は次のページからご覧いただけます (<http://library.nara-u.ac.jp/nara/yotei.htm>)。





ログイン画面



トップ画面

### 新着情報

キーワードが設定できます。キーワードに該当する資料が図書館に受け入れられた場合にここに表示されます。

### 入手待ちの資料 お知らせ

予約などを行った場合は詳細が表示されます。

### 借用中の資料

図書館から借り出している資料が表示されます。もちろん返却期日も確認できます。

### 操作メニュー (パスワード)

ここで初期パスワードから任意のパスワードに変更することができます。

そのほか、OPACで検索詳細から送本貸出(通信生のみ)申込や予約登録、貸出延長などが行えます。



マイライブラリメイン画面

## 図書館統計（2006年3月末現在）

	平成16年度 (2004)	平成17年度 (2005)	増 減
開館日数	253	294	+41
入館者数	163,985	168,520	+4,535
図書所蔵数	342,475	356,564	+14,089
（和）	269,142	282,310	+13,168
（洋）	37,610	38,101	+491
（中）	35,723	36,153	+430
雑誌所蔵タイトル数	5,284	5,538	+254
貸出総数	41,119	47,328	+6,209
相互協力利用（依頼数）	673	1,053	+380
相互協力利用（受付数）	1,324	1,278	-46

### 開館日数・入館者数

平成17年度からの通信教育部開設に伴って学生数が増加し、スクーリング時の休日開館を開始しました。開館日数・入館者数は著しい伸びを示しています。

### 所蔵資料数

図書・雑誌ともに着実に所蔵数が増加しています。

17年度では特に利用頻度の高い新書や選書など「教養文庫」の充実をはかりました。

### 貸出総数

利用者の純増に加え、新書や文庫本の貸出が増えています。

### 相互協力利用

相互協力とは、本学図書館に資料がない場合に、他の図書館と連携し、複写・貸出を提供す

るサービスです。当館からの依頼数は増加しており、活発な研究活動の反映といえるのではないのでしょうか。一方、他館からの依頼受付数は微減となりましたが、平成14年度443件、15年度518件と比較すれば、高い水準にあると考えられます。



## 後記

奈良大学図書館報第4号をお届けいたします。平成9年以来の刊行となりましたが、新たに『みささぎ』と改題して、今後は年2回ずつ定期的に刊行してまいります。まずは、原稿をご執筆頂きました白石館長、大学院生の青木さんには心よりお礼を申し上げます。さて当館では、平成15年度のコンピュータ・システムリプレース以来、書誌・所蔵データの不具合も改良が進み、図書館専用個人ポータルサイトを増設するなど、活用しやすい環境整備に努めてきました。図書所蔵数も本年度に入って36万冊を超え、益々充実しています。今後もNACSIS-CATへの所蔵登録の推進などを通じ、平均水準を越える大学図書館を目指して、データ整備等に一層力を入れていきたいと考えております。次号は来年2月刊行予定です。お楽しみに。（編集担当）

発行：平成18年10月31日

編集：奈良大学図書館 奈良市山陵町1500